

No.11

ちくまさかき

危険物防火管理協会報



～ 埼玉県：首都圏外郭放水路を視察 ～

千曲坂城危険物防火管理協会

発行年月日 平成26年1月 発行人 田島光雄 発行 千曲坂城危険物防火管理協会
編集 千曲坂城消防本部 予防課 危険物係(協会事務局)
千曲市大字磯部1221 TEL 026-276-0119 FAX 026-276-9119
E-mail : chikumasakaki@ag.wakwak.com

会長あいさつ

千曲坂城危険物防火管理協会
会長 田島光雄



謹んで年の初めのご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、清々しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素は当協会に対しまして、ご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます次第です。

平成15年9月1日の千曲市誕生並びに千曲坂城消防組合の発足に伴い、更埴市危険物防火管理協会及び坂城戸倉上山田危険物安全協会が、共に昭和46年以来32年間の歴史に幕を閉じ、平成15年10月29日千曲坂城危険物防火管理協会が設立し10周年を迎えました。

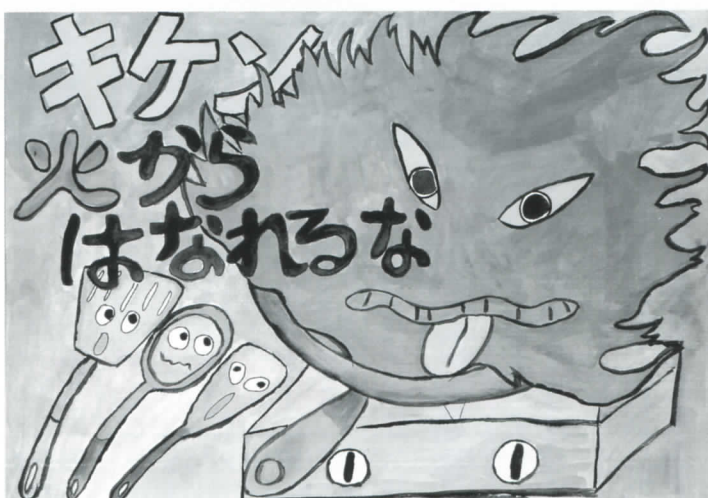
設立当初は会員数341事業所でスタートし、危険物に限りますと、県内18の地区協会が有る中で当協会の加入率は85%とトップでしたが、不況の煽りを受け年々会員数が減り現在は300会員数を切る状

況になりました。

この10年間を振り返ってみますと千曲市、坂城町においては会員の皆様のご尽力もあり、これまで大きな事故、災害等も無く経過してまいったことを考えますと、歴代役員並びに会員の皆様の普段の努力の賜であり、紙面をお借りして大きな敬意と感謝を申し上げます。

危険物、特に石油類は現代の生活に必要不可欠ですが、取扱いや施設の点検を怠ると、大きな事故や災害に直結する危険性も併せ持っています。日頃から自主点検や自主管理、訓練等に努め、事故や火災、災害を出さないこと、そして万一のときには、被害を最小限に食い止めることが我々の使命であります。また、防火対象物に於いて近年他県では認知症高齢者グループホーム火災、ホテル火災など相次いで発生しておるところであります。幸いにも千曲市、坂城町での火災は発生しておりませんが日頃から消防用設備の点検、訓練等をお願いするところでもあります。防火管理では、日頃の訓練や点検を怠りますと、いざというときに初期消火が出来なかつたり、避難誘導が困難な状況に陥ることが考えられます。保育園、幼稚園、病院などの事業所会員は、子供やご年配の方など災害弱者と言われる人と日々接しておられます。また、旅館、ホテルなどの不特定多数のお客様を日々受け入れている事業所会員も多く、日常の点検や気づかいが求められております。消費税率も5%から8%に増税する年で未だ経済状況の大変厳しい折ですが、安全、安心へのコストや努力を節減することなく、住民の安全な暮らしと、この地を訪れる多くの方が安心して過ごせるように、危険物施設、防火対象物の事業所会員共に心掛けてまいりましょう。

最後になりましたが、今後も当協会に対し、特段のご指導・ご支援をお願い致しますとともに、会員皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。



千曲坂城消防本部「ポスター展」最優秀賞
坂城町立南条小学校5年生 野原洋輝さん

平成25年度 通常総会開催される

平成25年度の通常総会が5月10日（金）千曲市総合観光会館において開催されました。先ず議事審議が行われ、本年度の事業、予算等が原案どおり認定されるとともに、平成24年度事業及び決算等も承認されました。

また、役員改選も行われ、常任理事から役員留任の提案があり、審議の結果、全会一致で可決されました。その後、総会の席上に於いて、永年にわたり危険物の取扱いに関して功績のあった優良事業所と優良危険物取扱者に当協会長表彰が行われるとともに、消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰、関東甲信越地区危険物安全協会連合会長表彰、長野県危険物安全協会長表彰の伝達がありました。

受賞者は下記の方々です。おめでとうございます。

なお、平成25年度は、長野県危険物安全協会の役員改選の年でもあり、当協会の田島光雄会長が6月6日、中野市民会館で開催された、長野県危険物安全協会通常総会の席上に於いて県の副会長に就任されました。



平成25年度受賞者 ※敬称略

●消防庁長官表彰

【優良危険物関係事業所】

日精樹脂工業株式会社（専務取締役 清水治 写真左）

●財団法人 全国危険物安全協会理事長表彰

【危険物保安功労者】

有限会社田島石油 代表取締役 田島光雄（写真右）



●関東甲信越地区危険物安全協会連合会長表彰

【優良取扱者】

有限会社更埴石油 取締役 竹内毅喜

●一般社団法人長野県危険物安全協会長表彰

【優良事業所】

有限会社中央ホテル

丸善食品工業株式会社

【優良危険物取扱者】

瀧澤 昭 久（有限会社竹内製作所戸倉工場）

阿 部 茂 喜（介護老人保健施設ひまわり）

北尾根 浩（千曲衛生施設組合）

長谷川 博 志（株式会社アルプスツールテクノさかき工場）



●千曲坂城危険物防火管理協会長表彰

【優良事業所】

滝沢食品株式会社倉科工場

【優良危険物取扱者】

坂井 常 孝（ミヤリサン製薬株式会社坂城工場）



防火管理講習会・防火管理者会議開催



甲種防火管理講習会が6月5日、6日(千曲市更埴文化会館)、10月3日、4日(消防本部)の2回開催され、計104名の方が受講されました。

講習会では防火管理の意義・制度及び関係法令の講義から始まり、防火管理対策や各種消防用設備の維持管理、地震対策等について学び、2日目の午後には効果測定(試験)、消火器及び屋内消火栓を使用した模擬消火訓練や煙体験訓練等の実習を行い、効果測定では受講者全員が優秀な成績を修め、修了証が交付されました。

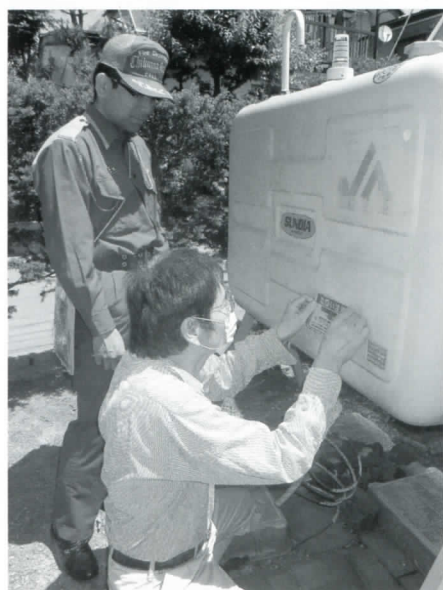
この講習会を受講した皆様が、防火管理者に選任された際には、お客様や従業員の命を守る防災の責任者として活躍されることをご期待申し上げます。

また、11月6日には更埴文化会館あんずホールに於いて、火災予防運動・防火管理・火災予防条例等の主旨の徹底と周知を目的に防火管理者会議を開催し、176名の方が出席されました。

新年を迎え、厳寒期となるこの時期は、暖房機器の使用が本格的になるとともに火災危険も増加します。防火管理者の皆様には、今後もより一層の火災予防に努めていただきたいと思います。



LPガス・灯油タンク巡回指導実施



危険物安全週間(6月2日から8日まで)に併せて、一般家庭の灯油用ホームタンクやLPガスの安全性を調査・指導する巡回指導を、坂城町中之条地区において千曲坂城消防本部と長野LP協会長野支部と共催で6月4日に実施しました。

LPガスは、概ね良好に設置されていました。ホームタンクは地震などの揺れに対する転倒防止対策(脚部固定等)や灯油が漏れ出した場合の流出防止対策(防油堤等)が施されていない家庭が、昨年同様多く見られました。

東日本大震災では津波の影響がなかった地域でも、ガスボンベやタンクの転倒が多数見受けられたそうです。また、冬期は暖房用の燃料として灯油の使用量が増えますが、それに伴って、小分け中にその場を離れたためポリタンクから灯油が溢れ流出したり、腐食し穴の開いた配管から灯油が流出するといった事故も多くなります。灯油などの危険物の流出は、火災が発生する危険性が高くなるのはもちろんのこと、土壌や水質汚染なども含め広範囲に重大な影響を及ぼします。是非ともこの時期に配管などタンク周辺の安全確認を行いましょ。

また、灯油やLPガスの販売及び配達業務を行う会員の皆様には、取扱いの専門家として、顧客の皆さんに事故防止のための積極的なアドバイスをお願いします。



心肺蘇生法を知っていますか？ 「応急手当のできる店・事業所」普通救命講習会を開催

普通救命講習会を受講して

稲荷山保育園 湯浅 友美



普通救命講習会に参加する前は、命にかかわるような突然の事故や病気に遭遇した時は、誰かが助けてくれるだろうという人任せな意識があったためか、心肺蘇生の方法には不安があり、身近にあるAEDのある場所、あまり意識した事はありませんでした。

けれど今回の講習を通して、救命は決して救急隊任せではなく、その場に居合わせた自分たちがまず勇気を持って行うことがいかに大切かという事を知りました。

署の方々の熱意のあるご指導のもと、救命の実践練習を繰り返し行う中で、なぜこの行程が必要なのか、最優先することはどこなのか丁寧に分かりやすく説明していただき、限られた時間の中で即現場に生かせる救命法を学ぶことが出来たように思います。知識として知っていても実際に体で覚えて初めて使える力になるという事も身にしみて感じました。保育士として子供達の命を守るために、心肺蘇生法が正確に出来ること、AEDが正確に使えることは必要不可欠な知識であり、それを学ぶことが出来て本当に良かったと思います。



第10回親善マレットゴルフ大会開催



協会事業の一環である親善マレットゴルフ大会が10月11日、大田原マレットゴルフパークにて開催されました。この日は天気も良くとても気持ちの良い汗をかくことができました。

この事業は、平成16年の協会合併当初から開催されている事業で、今年度で10回目の開催となりました。

参加人数は年々減少傾向にあり、毎年同じ顔ぶれが参加するという感じになってきました。この協会報でもマレットゴルフ大会

の記事を載せたのは第3回大会の時で今回が2回目です。わたくし事務局も担当になって今回で2回目の大会参加となりました。そこで感じた事は実際にプレーしてみると案外楽しくて面白いというのが率直な気持ちです。どうか会員の皆様も参加してみてください。来年度は多数の参加をお待ちしております。



協会視察研修



9月12日から13日、埼玉県春日部市「首都圏外郭放水路」の視察研修が行われました。詳細な研修記を、坂城勤労者総合福祉センター 山岸今朝人様にお願い致しました。

平成25年度千曲坂城危険物防火管理協会 視察研修に参加して

坂城勤労者総合福祉センター 山岸 今朝人

協会が発足して10周年の節目となる視察研修に、5年ぶりに参加いたしました。

更埴、戸倉上山田署を経由し、坂城署で総勢19名が乗車し、視察地へ向かいました。

車中では、自己紹介後、久々の再会で会話が弾み和気藹々の中視察地の埼玉県春日部市へと進みました。

施設に到着後、庄和排水機場に併設する地底探検ミュージアム「龍Q館」に案内され、首都圏外郭放水路の概要をビデオで視聴した後、最大で1秒間に200^m（25mプール1杯分）



2013.09.12 14:24



の水を排出することが可能な、航空機用に開発された14,000馬力のガスタービンの模型等でわかりやすく説明してもらいました。

首都圏外郭放水路は、あふれそうになった中小河川の洪水を5つの立坑から地下に取り込み、地下50メートルを貫く総延長6.3キロメートルのトンネルを通して江戸川に流す、世界最大級の地下放水路です。

日本が世界に誇る最先端の土木技術を集結し、平成5年3月に工事に着手し、平成18年6月に完成。完成に先立ち、平成14年

から部分的に稼働し、毎年7回程度の洪水を安全に処理することで、住宅地等への氾濫を防いできました。

次に、屋上から屋外施設を全貌した後に、「地下神殿」と呼ばれている巨大な調圧水槽を見学しました。地上の入口部分では30度を超える真夏日の気温でしたが、116段の階段を降りた地下は、気温が16度と肌寒さを感じるとともに、スケールの大きさに驚きました。

幅78メートル、長さ177メートルというサッカーグラウンドほどの広さを誇り、また高さは18メートルもあり、まさにギリシャのアテネにある「パルテノン神殿」のような柱と空間の巨大さから、地下にそびえる地下神殿と言われているのに納得しました。

調圧水槽の天井を支えている柱は59本あり、1本の柱は、奥行き7メートル、幅2メートル、高さ18メートルもあり、重さは1本あたり約500トンで、地下水によるアップリフト（揚圧力）により調圧水槽が浮くのを抑えるための役割を果たしているとの説明でした。

ここでは、仮面ライダー、魔法戦隊マジレンジャーなどの特撮テレビドラマの撮影が数多く行われたそうです。

この地域は、地盤が低く水がたまりやすい地形。そして、急激な都市化により、これまでに幾度となく洪水被害を受けてきました。

今後さらに都市化が進めば、過去とは比較にならないほど甚大な被害を受ける恐れがあるということで、首都圏外郭放水路は、平成14年の部分通水から、平成25年3月の時点で73回の洪水調節実績があり、治水効果は目覚ましく、浸水被害は大幅に軽減されたとのことでした。

最近の異常気象に伴うゲリラ豪雨、巨大台風などによる甚大な被害を未然に防ぐ対策として最先端技術を駆使した首都圏外郭放水路は、洪水に強い都市づくりの一翼を担う施設として期待されています。

一日目の研修を終え、バスは宿泊地の東京、下町の人気スポット浅草へ向かいました。

懇親会（宴会）は、2020年の東京オリンピック開催が決定し、「金と銀」にライトアップされた東京スカイツリーの夜景を「肴？」に、懇親を深め、和気藹々のうちに浅草の夜は更けていきました。

二日目は、東京スカイツリーと浅草周辺の散策です。

最初に、世界一の高さを誇るスカイツリーを視察（見学）しました。早速、超高速エレベーターに乗り50秒で展望デッキ（350m）へ、更にその先の展望回廊（445～450m）へ上がり、雲上から広大な首都東京のパノラマを眺望したり、恐る恐るガラス床の上に乗る「記念写真」のサービスをうけ、眼下に広がる迫力ある眺めを満喫しました。その後、スカイツリータウンでは、皆さん沢山の土産を買い込んでいました。

昼食をすませ、浅草周辺の散策です。まず、中央に重さ700kgの提灯が吊り下げられた雷門をくぐり、都内最古とされる浅草寺に参拝し帰途の安全祈願をしたあと、境内や仲見世、そして花やしきなどの名所をのんびり散策しました。

二日間でしたが天候にも恵まれ、大変暑い中でしたが貴重な体験をさせていただき、充実した視察研修でした。





合併10年を災害と共に振り返る



平成16年

10月23日(土) 新潟中越地震

午後5時56分頃に発生。M6.8。新潟県で震度7を記録する。
長岡市妙見堰の土砂崩れ現場では、生き埋めになっていた2歳男児が緊急消防援助隊等の活動により奇跡的に救出された。



12月13日(月) 埼玉県さいたま市 ドン・キホーテ浦和花月店火災

午後8時20分頃、火災発生。鉄骨造一部鉄筋コンクリート造1階建ての建物1棟を全焼した。
この火災以降、さいたま市内で10件の不審火が連続して発生した他、千葉県、大阪市でも不審火が相次いだ。事態を重く見た総務省消防庁は、12月17日、「避難・消火困難な物品販売店舗における防火安全対策検討会」を立ち上げた。



12月26日(日) スマトラ島沖巨大地震・インド洋津波

午前7時58分発生（現地時間）M9の巨大地震によりインド洋沿岸諸国を大津波が襲った。

平成17年

4月25日(月) JR西日本福知山線脱線転覆事故



平成18年

1月8日(日) 長崎県大村市 認知症高齢者グループホーム火災

自力避難困難な認知症の高齢者ばかりが7人死亡、3人が負傷。

平成19年

1月20日(土) 兵庫県宝塚市カラオケボックス火災(死者3人、負傷者5人)

7月16日(月) 新潟県中越沖地震

長野県、新潟県で震度6強を観測。

柏崎刈羽原子力発電所3号機で火災が発生した。



平成20年

10月1日(水) 大阪市浪速区個室ビデオ店火災(死者15人、負傷者10人)

平成21年

3月19日(木) 群馬県渋川市老人ホーム火災(死者10人、負傷者1人)

7月5日(日) 大阪市此花区パチンコ店放火火災(死者4人、負傷者20人)

平成22年

3月13日(土) 札幌市 認知症高齢者グループホーム火災(死者7人、負傷者2人)

平成23年

3月11日(金) 東日本大震災

3月12日(土) 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故



平成24年

5月13日(日) 広島県福山市ホテル火災(死者7人、負傷者3人)

午前6時58分頃発生。同ホテルは、違法建築で、平成15年以降一度も立入検査がなされていなかった。

12月2日(日) 中央自動車道上り 笹子トンネル内崩落事故(死者9人)



平成25年

2月8日(金) 長崎市東山手町 認知症高齢者グループホーム火災(死者4人、負傷者8人)

8月15日(金) 京都府福知山 ガソリン携行缶爆発 (死者3人、負傷者59人)

花火大会で露店商の店主が携行缶で発電機にガソリンを給油しようとしたところ、気化したガソリンに引火し爆発したと見られる。



10月11日(土) 福岡県福岡市博多区安部整形外科火災 (死者10人、負傷者5人)

1階処置室にある温熱療法機器周辺からの出火と見られる。なお、同日千曲坂城消防本部管内の病院を対象に緊急立入検査を実施しました。



※平成25年10月31日現在までに発生した主な災害等を掲載しました。

丸善食品工業株式会社



～今回は 丸善食品工業(株)さんです～
(有)山文宮下商店さん



丸善食品工業株式会社は、昭和36年に更埴市工場誘致条例により設立され、アイスクリーム、果実缶詰、製菓原料の製造を開始。その後、食の多様化と呼応するように当社の商品バリエーションも年々広がりを増してきました。現在の事業内容は、多種多様な商品づくりに対応するため、本社工場（千曲市）、須坂工場、富士小山工場（静岡県）の3工場を拠点に多品種大量生産に対応した最新設備を導入。パッケージにおいても、ペットボトルや缶、ビン、ボトル缶、レトルトパウチなど製品特性に合わせたフレキシブルな対応システムを完備し、人気のお粥シリーズをはじめ、なめ茸、釜めしの素などの食品類、飲料ラインでは、コーヒー・紅茶・ウーロン茶、果実飲料や乳飲料、スポーツドリンク・炭酸飲料などの他酒類もてがけています。さらに食製品を扱う上で最も大切な安全面に万全を期するため、HACCPシステムによる衛生管理体制を整え、安全で安心そして美味しい製品を日々生産しています。また、東日本大震災発生には、レトルト食品（お粥）20万食と飲料水19トンを救援物資として被災地へお届けいたしました。当社では事業活動の中で、従業員の健康と安全は全てに優先することを認識し、労働安全衛生マネジメントシステムを導入して、全従業員の教育、啓発活動を推進しています。今後も、危険物防火管理協会の皆様ならびに関連機関のご指導・ご鞭撻を頂き、事業所内での無事故の推進及び地域社会への貢献も出来るよう全従業員心掛けて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

有限会社山文宮下商店は旧上山田町新山で雑貨店をしていたのが始まりです。

当初は雑貨店をしていた新山地区において可搬式の計量機で燃料販売をしておりました。その後、旧上山田町の三本木地区県道沿いに地下タンクを埋設してガソリンスタンドを建設し、昭和四十九年に戸倉上山田消防署の完成検査許可が下り、現在まで運営することができました。これまで長く店を運営させて頂いたのは、地域のお客様のご支援の賜と考えております。ハイブリッドカー等の省燃費車が増加し、全国的にガソリン消費量が年々減少するなか、

当店のような小規模店にとっては、更に厳しい経営環境ではありますが、今後も地域の皆様のお役に立てるSSを目指して、がんばっていきたいと思います。また、地下タンク等の漏洩対策や、報道を賑わしている顧客のガソリン火災など、危険物事故が無い様に、法令の遵守と顧客への啓蒙に努めてまいりたいと思います。今後とも危険物防火管理協会様ならびに関係機関のご指導ご協力を、よろしくお願い致します。

有限会社 山文宮下商店



編集後記

千曲城危険物防火管理協会が設立し10周年が経ちました。そこで今回の協会報は過去に発行した会報とは少し違った構成で設立当初から発生した主な災害の記事を掲載させて頂きました。人的であれ自然であれ、災害に対する気の緩みの蔓延は、さらに悲惨な結果を招くことは歴史が語るところです。この記事を作成するにあたり私が感じた事は今、私達の安全、安心感は「まさか自分が…ここは安心…」という妄想と危機管理を他人に任せている、気の緩みそのものに支えられている気がしました。私ごときが偉そうなことを言うなと怒られそうですが、まず手の届く範囲の事柄から、自ら見て、確かめて、対策をとるという行動を習慣づけましょう。